

広報 ㊦
No.700
令和4年

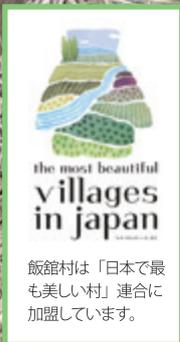
いいたて

6
2022

祝
700号



特集 いいたての牛



www.vill.iitate.fukushima.jp

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「大型連休のにぎわい」
- 4 特集「いいたての牛」
- 10 お知らせ「飯館村職員募集」
- 11 生涯学習のページ「YOITOKOツアー」
- 12 飯館百景「想い伝わる花景色」
- 14 学びの広場「いいたてっ子運動会」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 はなれていても／ふれ愛館だより
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／までの食卓
- 23 ふるさと資源／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙
三坂家の牛の世話をする勲さんと美枝子さん(白石)。避難で預けた母牛が村に戻った時、美枝子さんは涙をこぼして喜びました。こっこ(仔牛)が増えていました。

お詫びと訂正

5月号P2の記事で、今夏着工予定の木質バイオマス発電所の「出力」「燃料」の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。正しくは以下の通りです。

名称	飯館みらい発電所
出力	7,500kw
種類	木質燃料を使用する バイオマス発電所
燃料	地元間伐材・バーク(樹皮)・ 一般木材等 約9.5万t/年

大型連休の飯館村に色とりどりのにぎわい

ゴールデンウィークの飯館村で新たな交流が生まれていたよ

多彩なイベントでにぎわいました

地域おこし協力隊の二瓶麻美さん(草野)が5月3日・4日に旧草野小学校と「やすらぎ工房」(旧草野幼稚園)で開いた『山の向こうから』。食器や雑貨、アクセサリやスイーツなど、目移りしてしまうこだわりの逸品が全国から集まり、来場者は作り手との出会いを楽しみながら、お気に入りを購入したり、ワークショップに参加したり、遠来のファンを含む約1200人が、思い思いにイベントの魅力味わっていました。

同日、松本奈々さん(深谷)、矢野淳さん(佐須)が共同代表を務める合同会社マープリングは、『図(ず)倉庫』(旧コメリ建物)でプレオープンイベントを開催。展示やワークショップを通して、同社事業のわくわく感を伝えました。モニター利用を開始した『あいの沢オートキャンプ場』では様々な世代の方がキャンプを楽しみ、『ふかや風の子広場』や道の駅までい館は多くの家族連れでにぎわいました。



山の向こうから
5/3・4



1・2・4会場の様子。3村の花を使ったディスプレイがお出迎え。5観客が息を飲んで見つめた藤安将平刀匠による刀の焼き入れの実演。6出店者と言葉を交わす二瓶さん(左)。作家の一人ひとりとコツコツ関係を築いてこのイベントを育てています。7・8ナイトマーケットの明かり。しっとりした雰囲気も◎



あいの沢
オートキャンプ場
モニター利用

4月下旬からモニター利用が始まった「村民の森あいの沢」のオートキャンプ場。家族や友人とのキャンプを楽しむ人、ソロキャンプで1人の時間を満喫する人など、様々なスタイルで多くの方にご利用いただいています。予約方法など利用情報は5月号P20で確認を。



交流と情報発信の拠点として、合同会社MARBLING(マープリング)が、内外の人々と協働して空間づくりを行っています。1 地域おこし協力隊の松尾洋輝さん(大久保・外内)がトレーラーカフェでおいしいコーヒーを提供。2・3 様々な世代の人が空間の雰囲気を楽しみ交流しました。



図(ず)倉庫
プレオープン
イベント
5/3・4

今月の話題
vol.25



午前9時30分の開店前から道の駅の入口前に行列ができ、合計45kgの牛肉は開店後およそ30分で完売しました。佐藤さん(右端)も店頭立ち、来店客と言葉を交わしながら、牛肉の販売を行いました。

飯館産黒毛和牛を道の駅で販売

佐藤(一郎)さん(大倉)が育てた黒毛和牛が、5月21日、「いいたて」の道の駅まで「飯館」で販売されました。佐藤さんは、大倉地区の牛舎で育てた肥育牛2頭を4月に初出荷。2頭の枝肉は、市場で最上ランクA5等級の評価を受けました。今回道の駅で販売されたのはその一部です。この牛肉を多くの人に味わってもらおうと、JA、そうま和牛改良組合飯館支部などと協力し、村と道の駅が企画販売を行いました。

A5ランク!

飯館産黒毛和牛を味わった皆さんに聞きました

佐藤さんの黒毛和牛を道の駅で購入した皆さんに、後日、味わった感想をお聞きました。

旅行中に行列を見て並びました。まさかこんなお肉に出会えるとは。ステーキ、おいしかったですね。

高木昭夫さん
(東京都)

カルビも、比較的脂質の少ないモモ肉も、両方おいしかったです。次回があればまた食べたいですね。

倉本英敬さん
(伊達市)

おいしかったです。生産者の苦労を思うとひとしおです。道の駅に販売コーナーができたらいいですね。

高橋世津子さん
(草野)

塩だけでおいしいサーロイン。とろける様な脂は神戸ビーフのようで、さすがです!と思いました。

細川恵美さん
(上飯樋)

ロースを焼いて家族と食べました。やわくておいしかったです。もったいなくて半分は取ってあります。

北原スミ子さん
(草野)

今回の販売が発展の一助になりますように

村まつりと言えば「飯館牛」だったね...と当時を懐かしむ村民の皆さんの声を聞いてきました。私は繁殖農家で、肥育牛を出荷したのは初めてです。試行錯誤で教えてもらいながらの挑戦でしたので、市場でA5ランクの評価をいただけるとうれしい驚きでした。現在も新たに2頭の肥育を行っています。今回の販売が、村の畜産のさらなる発展や、復興の一助になることを心から願っています。お買い上げいただいた皆さん、ご協力をいただいた皆さん、本当にありがとうございました。

牛を連れて避難した佐藤さんは、避難先の相馬市で畜産を継続。避難指示が解除されると村に戻り、建て直した牛舎で再開しました。



佐藤一郎さん
(大倉)

特集

いいたての牛



震災前の村内には、繁殖と肥育を合わせて223軒(平成22年)の畜産農家がありました。冷害の影響を受けやすい中山間地域では稲作・畑作と並行して畜産に取り組み複合経営が奨励されており、小規模に牛を飼う家も多くありました。

そのうち、肥育を行う農家は12軒。飯館村振興公社とJA、村などが力を合わせて、「飯館

ました。

村外で畜産を継続した農家もありましたが、多くは廃業に追い込まれました。混乱の中で、牛と共に避難し畜産を継続することは、非常に困難なことでした。あのどかな牧歌的な風景はもう戻らないに違いありません。先の見えない避難生活が続く、全村避難は6年間にも及びました。

しかし今、大きな苦難を乗り越えて、飯館村には牛の姿があります。まだまだ課題はあるものの、飯館の畜産を一歩でも前へ進めようと、様々な試みも始まっています。

「いいたての牛」は特別な想いを持つ牛になりました。「飯館牛」の復活を願う声も年々高まっています。

今回は、そんな飯館村の現在の牛のお話です。

繁殖: 親牛(繁殖牛)を飼い仔牛を出荷
肥育: 仔牛を育てて肉牛(肥育牛)を出荷





福島県中島村



原田貞則さん(飯樋町)

避難後、菅野牧園として再開。自家産牛肉を活用したファームレストランも併設しています。福島で牛肉を味わうイベントを共催したり、いいたてわくわく推進委員に参加したりと様々な形でふるさとに関わり続けています。昨年はコープさっぽろ農業賞、特別賞を受賞しました。

村外で畜産を続ける皆さん

村では酪農が中心でしたが、設備が必要な酪農の継続は難しいと判断し、飼っていた和牛15頭を連れて避難しました。高齢の家族の暮らしを支えるため現地に住宅を求め、現在に至ります。「牛のセリや、行政区の草刈りなどで、村の人に会えるとうれしい」と話します。

菅野牧園



北海道栗山町



菅野義樹さん(比叡)

左の写真は山武市のお食事処「まんまや」名物の牛かつ。サーロインを贅沢に使った、脂の甘さにうっとり…の逸品です。同店は「まदी牛」の指定販売店にもなっています。

P9・P19の記事を合わせてご覧ください。



小林将男さん(関沢)



小林牧場(飯館分家)

千葉県山武市



今まだ「飯館牛」がないワケ



飯館牛とは

震災前、村内で肥育された黒毛和種の肉用牛でA3ランク以上のものを「飯館牛」とし、中でもA4、A5ランクのものは「特選飯館牛」として販売されていました。

各地域の「ブランド牛」には法律上の定義はなく、その地域の「ブランド牛」に関わる団体が独自に基準を定め、その基準をクリアしたものが「ブランド牛」として流通しています。

現在、村にはこの「ブランド牛の基準」の設定がありません。

「新たな飯館牛」のブランドの再設定が、今後の検討課題です。

「飯館牛」の復活を目指そう

小林 稔さん(前田・八和木)

肥育牛の出荷再開から3年。「福島牛」として仙台市場に出しています。

「飯館牛」は当時20頭以上を生産しましたが、稲作が主で管理の時間が十分取れない中での挑戦でした。村に戻り、自分の年齢に合わせた規模で、肥育に取り組みもうと思いましたが、避難で失われた連帯感を取り戻すためにはブランドの復活が必要だと考え、これまでも行動を起こしてきました。「飯館牛」の復活にはまず頭数が必要ですが、仲間の頑張りを見てみると、そんなに長くはかからないだろうと思います。振興公社の牛舎を活用できるといいですね。「飯館牛」が復活するまでは私も終われないという気持ちです。



生産者の皆さんから一言!

今は自分の体の維持のためにやっているようなものですが、川俣に連れて行った牛がいたから続けてこれたと思っています。

高橋政行さん(二枚橋・須萱)

沼尻(猪苗代町)に預けていた親牛が帰って来て、仔牛をなし、今は5頭になっています。両親が世話をしています。

三坂光一さん(白石)

1人でも多くの人に関わってもらい、牛農家を中心となって、村の水田や農地を復活させていきましょう!

山田 豊さん(関根・松塚)

昨年からの繁殖牛の飼育が始まったばかり。プランクがありますが、協力をもらいながら、追いついていきたいです。

松林正治さん(伊丹沢)

1軒でも多く仲間が増えればいいですね。ブランド牛復活に向けて少しでも力になればと思っています。

天野浩樹さん(大久保・外内)

昔の飯館村のように、1頭でもいいので、牛を飼って生活する人が、この村に増えていけばいいなと思います。

細川恵美さん(上飯樋)

村内の畜産農家

いいたての牛 それぞれの想いを胸に

肥育の部会も必要になると思います。皆さんに声をかけて少しずつでも頭数を増やし「飯館産牛」を「飯館牛」にしていきたいですね。

佐藤一郎さん(大倉)

年齢的に引退するにはまだ中途半端なんだよ(笑)。再び牛を始めて、仔牛が5頭生まれて、この秋から出荷が始まります。

伏見義雄さん(関沢)

仔牛を入れて200頭近くになりました。農地を借りて牧草もやっているの、この季節は牧草刈りが忙しいよ。

佐藤隆男さん(飯樋町)

生産者はそれぞれこだわりを持っています。高く売れる牛をつくりたいですね。市場の相場を見ながら、肥育もやっていきます。

佐藤豊洋さん(飯樋町)

ブランド牛の復活を夢見て村内で肥育を行っています。想いが現実になるまで、この歩みを止めたくないと思っています。

小林 稔さん(前田・八和木)

村内で「フェリスラテ」の仔牛の育成、和牛の繁殖をしています。乳牛も飼ってソフトクリームなどもやってみたいと思っています。

田中一正さん(長泥)

フェリスラテ:田中さんが福島市で経営する復興牧場。生乳を出荷しています。

村内で黒毛和牛の繁殖・肥育を行っているのは現在12軒。一步一步の努力が「いいたての牛」をつくっています。



J Aや飯館村振興公社の職員として畜産に関わってきました。繁殖牛の飼育は、村の提案を受けて昨年未から始めたばかりで、長年繁殖農家をしてきた父の協力をもらいながら頭数を増やしていく予定です。組合支部長も引き継いだばかりの1年生ですが、よりよい牛の生産につながるような視察研修などを行っていききたいと思っています。



支部長 松林正治さん

そつま和牛改良組合 飯館支部

繁殖牛の部会です。10軒が加盟しています。

想い携えいよいよの里帰り までい牛をおいしく

「までい牛」の牛肉を道の駅で販売しようと、道の駅を運営する(株)までいガーデンビレッジ事業部が計画を進めています。8月の道の駅5周年に合わせて、新商品の発売やイベントが行われる予定です。

道の駅までい館が商品を開発中

8月に開館5周年を迎える「いいたて村の道の駅までい館」では、「飯館牛」復活プロジェクトと銘打ち、ブランド復活を願う企画販売や商品開発などを行っています。

このプロジェクトでは、「経産牛」を使ったレストラン新メニューや加工食品の販売(P8参照)、A5ランクの飯館産牛肉の企画販売(P5参照)などを、村と共に実施。さらに5周年に向けて、小林将男さんが山武市で育てる「までい牛」を使った商品の開発を関連企業と共に進めている他、イベントの企画なども行っています。生産者や加工業者と力を合わせた取り組みに、これからもどうぞ注目ください。



畜産農家の皆さんや関連機関と共に

飯館村の基幹産業であった畜産業。震災と原発事故の影響による全村避難で多くの人が牛を手放し、「飯館牛」のブランドが途絶えた中で、苦難を乗り越え畜産業に取り組み皆さんの努力は、村民を大いに勇気づけるものです。

村は、繁殖牛の遺伝子評価をする際の経費の補助を始めます。また、飼料・燃料の高騰や牛の相場の変動など喫緊の課題もある中、経営の安定を後押ししながら、繁殖牛に加えて肥育牛の生産体制についても、生産者、関連機関と共に、検討を進めてまいります。



「飯館牛」と共に避難し、その血統を受け継ぐ牛を千葉県山武市でまでいに育ててきた小林将男さん。現在も「千葉県産黒毛和牛」として肥育牛の出荷を続けていて、地域ブランド「山武牛」「までい牛」としても親しまれています。



村に心を寄せ続けて

小林将男さんは両親が避難した松川第一応急仮設住宅で焼肉イベントを開くなど、「飯館分家」と名付けた山武小林牧場で、村に心を寄せながら畜産を続けてきました。

また、「までい牛」は、当時東京大学農学部の大学院生だった佐藤聡太さん(前田・八和木)を中心としたグループが各地のイベントで紹介し、村制60周年の記念イベントなどにも登場しました。



経産牛の牛肉を カレーパンで味わう



「村カフェ753」が中心となって開発された牛肉カレーパン。5月3日、交流イベント「山の向こうから」で村商工会青年部が販売しました。お肉の存在感があるグリーンカレーの揚げたてカレーパンは、150個がまたたく間に売り切れました。

牛肉の新たな魅力を発掘 経産牛をおいしく

経産牛の“おいしい”活用が始まっています。肥育牛とは違う赤身の味わいを生かした商品開発には、山際食彩工房(会津若松市)が協力。ゴールドデンウィークから道の駅に新メニュー、新商品が登場しています。



道の駅レストランに登場した新メニュー「ハンバーグカレー」にも経産牛のハンバーグが使われています。

経産牛を食肉として出荷できれば、次の繁殖牛を導入する元手の一部にできますよね。経産牛の活用はこれまで限定的でしたが、経産牛ならではの濃い味を生かした活用が進み価格も上がってきています。(山際食彩工房の)山際シェフがいろいろと考えてくださるので楽しみです。味わいのある、そして後味もよい牛肉を選んで枝肉を買い付けしています。



繁殖牛の役目を終えた母牛のことです。経産牛は、肉用に肥育された牛に比べてサシの少ない赤身中心の肉ですが、年齢を重ねた牛の肉は味が濃く、草を中心に食べて育つので、ヘルシーです。



山田 豊さん (関根・松塚)



山田豊さん、佐藤隆男さん、佐藤豊洋さんらが生産した経産牛を使い、シェフで山際食彩工房代表取締役の山際博美さんが商品開発を行いました。道の駅にて好評発売中です!



震災前に飯館牛を使った商品開発に関わらせていただき、「また飯館の牛を使って新商品を開発したい」と願っていました。実現できたことをうれしく思います。今回使用した経産牛の牛肉は、低温調理ですごくおいしくなることが分かりました。噛めば噛む程、赤身のおいしさを感じられます。



山際食彩工房
山際博美さん



第1回 飯館YOITOKO発見!ツアー



「飯館YOITOKO発見!ツアー」が4月24日に開催され、東京をはじめとする関東圏や宮城県などから31人が、貸し切りバスで村内を巡り、春の飯館の魅力を楽しみました。

このツアーは、村外の人に飯館村の様々な魅力を感してもらい、村のファンになってもらうことを目的に、今年度からスタートしたものです。

一行は初めに伊丹沢地区の「飯館復興の桜」を訪れ、會田征男さんツタ枝さんご夫妻から、桜に込めた復興への思いを聞き、名残の桜を楽しみました。またここでは、ゲストのプロ写真家・高井潤さんの写真教室も開かれ、参加者が美しい写真の撮り方についてアドバイスを受けました。

その後、交流センター「ふれ愛館」に向かい、「飯館村食を考える会」のメンバーが手作りした「田植食」を堪能し、もう一人のゲストである絵本作家・松本春野さんによる絵本の朗読を聞きました。朗読された絵本は、松本さんの手による「ふくしまからきた子そつぎょう」という、原発事故の影響で自主避難した小学生の女の子が卒業式の

日に福島に帰って来る作品です。朗読と松本さんの語り、参加者からは「感動した」と声が上がっていました。

また、「ふれ愛館」では、小宮民俗芸能保存会による田植踊りも披露され、長い伝統を感じさせる華やかな踊りに、盛んな拍手が送られていました。

一行は最後に、村の人たちの憩いの場である深谷地区の「あいの沢」を散策し、豊かな自然とゆつたりとした時間の流れを楽しみました。

参加した人達からは「飯館の美しさと人の温かさを満喫した」「東京に戻ったら、村の魅力を多くの人に伝えたい」「またぜひ帰ってきたい」などの感想が聞かれました。

「飯館YOITOKO発見!ツアー」は、秋に第2回の開催を予定しています。



飯館村は、あなたの意欲と力を求めています

令和5年度採用飯館村職員募集のお知らせ

令和5年度採用飯館村職員大学卒程度（一般事務・土木）及び資格免許職（保健師・幼稚園教諭）の採用候補者試験を次により行います。

採用職種	一般事務（大学卒程度）	土木（大学卒程度）
採用人数	若干名	
受験資格	昭和57年4月2日以降に生まれた者	
第1次試験の内容	教養試験、適性検査	教養試験、専門試験、適性検査
第2次試験の内容	面接及び小論文等	
第1次試験	試験日 7月10日（日）	試験日 7月10日（日）
	受付 午前9時～9時30分	受付 午前9時～9時30分
	教養 午前10時～正午 適性 午後1時～3時	教養 午前10時～正午 専門 午後1時～3時 適性 試験終了後
試験場所	福島大学（〒960-1296 福島市金谷川1番地）	

採用職種	保健師（資格免許職）	幼稚園教諭（資格免許職）
採用人数	若干名	
受験資格	昭和52年4月2日以降に生まれた者で免許を有する者。または令和5年3月末までに免許を取得見込みの者。	昭和47年4月2日以降に生まれた者で幼稚園教諭及び保育士両方の免許を有する者。または令和5年3月末までに両方の免許を取得見込みの者。
第1次試験の内容	教養試験、専門試験、適性検査	
第2次試験の内容	面接及び小論文等	
第1次試験	試験日 7月10日（日）	
	受付 午前9時～9時30分	
	教養 午前10時～正午 専門 午後1時～2時30分 適性 試験終了後	
試験場所	福島大学（〒960-1296 福島市金谷川1番地）	

◆発表…令和4年8月下旬に村役場前掲示板に合格者受験番号を掲示する他、合否について通知します。
※第2次試験の詳細は第1次試験合格者へ通知します。（令和4年9月下旬～10月上旬実施予定）

● 受験手続 ●

◆申込用紙交付及び提出先…飯館村役場 総務課 総務係 ☎0244-42-1611
〒960-1892 飯館村伊丹沢字伊丹沢580番地1

◆受付期間…令和4年6月10日（金）まで ※郵送による申込は6月8日（水）まで（当日消印有効）

飯舘 百景

想い伝わる花景色

前田・八和木地区の菜の花畑。同地区では「11区営農組合」を立ち上げナタネの生産を行っていて、菜の花畑が点在しています。今年はぐっと栽培面積が増え、五月晴れの村内を鮮やかに彩りました。



「大火山ツツジの森」のヤマツツジの群生



「飯舘村フラワーガーデン」満開のチューリップ畑



桜色に染まり春の喜びに包まれる「マキバノハナヅノ」

春から夏へ。目にも鮮やかな花景色が次々に村内を彩りました。一つひとつに物語のある花景色です。

前田・八和木地区に広がった二面の菜の花畑は、同地区の「11区営農組合」（横山正秀組合長）が力を合わせて作り出している花景色。農地を守り生かしていくために、毎年面積を広げながらナタネの生産に取り組んでいます。昨年は立派に成長した菜の花から約7.7tのナタネを収穫。搾油も行い、ナタネ油を

出荷しました。

「大火山ツツジの森」のヤマツツジの群生は、多くの人に見てもらおうと震災前から「飯舘村議員OB会」が手入れを続けていました。現在は、県の森林環境交付金事業を活用しながら村が整備を続けています。今年も二面のヤマツツジが豪華に山肌を飾っていました。村のにぎわいづくりと民間企業が佐須地区に整備した「飯舘村フラワーガーデン」。この春は（株）ホクシヨーが単独でチューリップ畑を公開。村外からも多くの人が来場し、カラフルな二面の花畑を楽しんでいました。

大久保金二さん（小宮）の「マキバノハナヅノ」では多様な品種の桜が、水仙に続いて見頃を迎えました。震災後は多くの人が大久保さんの花園づくりに参加しました。想いを宿した桜やバラが花園を彩り続けています。

令和4年度

いいたてっ子運動会

スローガン

かけぬける! ~君が主役だ、いいたてっ子~

5月21日、『いいたてっ子運動会』が開催され、「いいたて希望の里学園」の児童生徒と、「までの里のこども園」の3歳以上児が参加しました。当日は汗ばむような晴れ模様となり、元気いっぱいに競技に取り組む子ども達の笑顔が、会場中の人達を元気づけていました。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前中のみに限られた時間での開催となりましたが、学年の枠を超えて一生懸命応援する姿が随所に見られ、いいたてっ子の絆を感じることでできる運動会となりました。

赤組の優勝!

赤 403-365 白



チームが一丸となって行った応援合戦
大きな歌声が響きわたりました



赤組・白組の団長による誓いの言葉
立派な宣誓で士気を高めました



70m走(1~2年生)
緊張感に包まれるスタートライン



100m走(3~4年生)
白熱のレース展開にハラハラドキドキ



ダンス(こども園3~5歳児)
かわいいダンスで会場を魅了しました



100m走(5~6年生)
スピード感のあるレースが続きました



100m走(7~9年生)
後期課程は本格的なクラウチングスタートです



かけぬける!主役はだれだ?!(1~6年生)
様々な課題をクリアしてゴールを目指しました



集団行動(7~9年生)
「写真隊形」で満面の笑顔



神旗争奪戦(4~6年生)
空から舞う神旗を必死に追いかけてました



いいたてっ子リレー(1~9年生)
チーム対抗でバトンと想いをつなぎました



こども園の園児達も、お兄さん・お姉さん達を
一生懸命応援しました



勉強会には村職員や生産組合の農家の方が参加し、県の担当者から種子生産における注意点などの指導を受けました



あぶくもち栽培勉強会を開催 本格栽培に向け活動をスタート

昨年、11年ぶりに復活した、村の新たな特産品として期待される「あぶくもち」の栽培に向け、県とJA飯館営農センターによる栽培勉強会が4月28日に開催されました。昨年12月に設立された「飯館村あぶくもち生産組合」が福島県と種苗許諾契約を締結したことから、「あぶくもち」の種子生産を行うことが可能となりました。また、5月12日には、前田地区の約60アールの水田で田植えを行いました。今年生産される種子により、来年から本格栽培が行われる予定です。



村長室にて杉岡村長から委嘱状が交付されました。村の顔である広報づくりにご尽力いただきます

飯館村で初の試み 村民広報委員が決定しました

5月19日、村民広報委員の委嘱状交付式が行われました。記念すべき1人目の村民広報委員となったのは、熱い思いをもって応募して下さった渡邊富士男さん(飯樋町)。さっそくこの日から、広報委員会へご参加いただきました。

村民広報委員は、役場職員だけでは目の行き届かない部分をはじめとし、幅広い情報収集にご協力いただきます。村内外で暮らす飯館村民の皆様へ、より多くの情報・現状をお届けするため、よりよい広報づくりにともに励みます。



臨床実習では、入居者と実際に触れ合うことで理解を深め、個々に応じた関わり方なども学んでいました

福島県立医科大学×飯館村 学生の村内実習がスタート

「いいいてホーム」で、福島県立医科大学保健科学部の実習が始まりました。村は同大学と2月に包括連携協定を締結。村民の健康福祉に関する取り組みを進めながら、医療人材の育成に協力します。初回の5月18日には、学生6人が「いいいてホーム」で実習。副施設長の佐藤智恵子さんから震災時の様子や質の高いケアへのこだわりなど、施設のあり方を聞き、同行した先生方の指導の下、臨床実習を行いました。今年度はサロンでのレクリエーション実習を含め、計14回の村内実習が予定されています。

熱気あふれるステージを満喫 白崎映美&東北6県ろ〜るショー!!

自主文化事業『白崎映美&東北6県ろ〜るショー!!コンサート』が、5月7日、交流センター「ふれ愛館」で開かれました。同コンサートの村内開催は4年3か月ぶり。村内外から80人余りが来場し、ステージでは、白崎さんが上々颯風(シャンシャン台風)時代に歌ったジブリ映画のテーマソング「いつでも誰かが」など15曲が披露されました。代表曲「まづろわぬ民」は、福島高校Jazz研究部の約30人も加わった熱気あふれる演奏となり、聴衆が総立ちで大きな拍手を送っていました。



1時間半にわたるステージを満喫!盛り上がる観客席



しみじみマスタープロジェクト 第1弾が本格始動しました

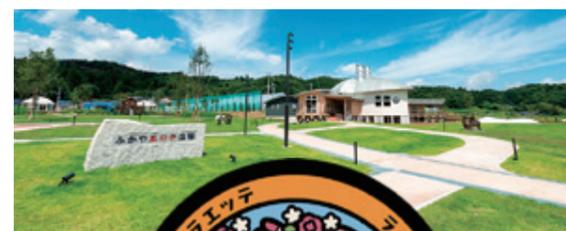
5月6日、「いいいて希望の里学園」で『しみじみマスタープロジェクト』がスタートしました。このプロジェクトは、村の第6次総合振興計画に盛り込まれているもので、村の郷土料理や食文化について素材の栽培から調理までの過程を体験することを目指します。この日は、「飯館村食を考える会」が作った、ずんだ、エゴマ、きなこの3種類の凍み餅を試食。しっかりと味わった児童達は「家族と作ってみたいと思った」「凍み餅を作る大変さが分かった」など、関心を深めていました。



前期課程の児童が3種類の凍み餅を味わいながら、凍み餅の歴史や作り方について学びました

ふかや風の子広場に 飯館村の『ポケふた』が登場!

『ポケふた』とは、ポケモンがデザインされたマンホールのふたで、県と連携協定を結ぶ(株)ポケモンが、県内市町村にそれぞれオリジナルデザインで世界に一つだけの『ポケふた』を贈っています。「ふかや風の子広場」に設置された飯館村の『ポケふた』は、「ふくしま応援ポケモン」のラッキーと、花の世話をするポケモンのフラエツェが描かれています。ここにしかない『ポケふた』に、ぜひ会いに来てくださいね。



© 2022 Pokémon. © 1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

話題のパレット

飯舘村婦人会が奉仕作業



5月12日、飯舘村婦人会（長谷川花子会長／前田）の皆さんが交流センター「ふれ愛館」の敷地内で草刈作業を行いました。この奉仕作業は3回目で、この日は約20人が、道路側の花壇周りを中心に、細かい部分まで丁寧に作業しました。また、婦人会では会員を募集中。年齢を問わず個人でもグループでも入会OK。和気あいあいと活動しています。入会ご希望の方は会まで連絡を。

宮内老人会が花壇に植栽



4月25日、宮内行政区の老人会（菅野正男会長）の皆さんが、綿津見神社の新しい駐車場の花壇に、たくさんの水仙を植えました。なんとこの植栽は、前日の総会で決まったそう。多田直正さんが自宅の水仙を提供し、急なこととは思えない手際の良さで作業が進んでいました。今後も集会所などの美化活動を計画しているそうです。

渋谷公園通に飯舘の花壇



渋谷公園通（東京都渋谷区）の花壇に、村産のペチュニア150株が植栽されました。植栽は、渋谷公園通商店街振興組合の取り組みで、毎年この花壇から、村へのエールを送っていただいています。コロナ禍前は、村の児童が招かれており、同組合からは「新型コロナが収束したら、また子ども達と一緒に植えたい」とお話をいただいています。

南相馬同窓会「小さなお茶会」



4月21日、「南相馬市飯舘同窓会」（三浦盛会長／小宮）が「小さなお茶会」を開催。石生涯学習センターで約40人が、杉岡村長、いたてクリニック医師の本田徹先生も迎えて、にぎやかに交流を楽しみました。このお茶会は避難先自治会の当時から被災者支援団体café de FUKUSHIMA（石川和宏代表）の支援で開催されていて今回が41回目の開催となりました。

はなれていても

小林将男さん（関沢）千葉県山武市在住



大震災に伴う原発事故の後、村に避難指示が出る前から牛の移動先を探し始めました。出荷が近かった20頭を宮城蔵王へ移動。残る約80頭には、県が出した移動先の候補から、一番多く牛を選べる千葉県山武市の牛舎を選びました。それから仲間の協力をもらい、トラック数台で何度も往復。当初は水も電気も来ていなくて、修理をしながら牛舎を整えました。見ず知らずの土地で、多くの人のお世話になりました。

地域にも徐々に受け入れていただいています。村出身の学生が私の牛を「まidea牛」と名付け、東京大学の学園祭で販売してくれたこともありました。牛舎貸与が終了する5年目に、山武市内に土地を求め、村の補助で新たに牛舎を建てました。現在は160頭程。出荷も安定的に行っています。山武市で肥育牛を出しているのはうちだけです。地域ブランドの「山武牛」で「まidea牛」としてふるさと納税返礼品にもなっています。ス

タッフも地元の方達です。この10年間は、とにかく仕事。自分で決めたことですからね。振り返れば寂しかったこと、辛かったことも、毎日の仕事があったから忘れていられたんですね。だからこれからは楽しく、趣味を兼ねた牛飼いにしたいなと思います。飯舘村にも、受け入れていただいた山武市にも、私の育てた牛の肉で、感謝の気持ちを届けていきたいです。おいしい笑顔を見るのが、私は何よりも好きなので。機会があれば、飯舘で畜産を頑張っている方の応援もしたいと思っています。飛び交う蛍、美しい星空、新緑、秋の稲刈り…村の風景を今も懐かしく思い出します。けれど牛を連れて戻るのは、また一から環境を整えなければなりません。気力があっても体力がね、もうそこまでないかなと思います。家とお墓のある飯舘に戻れる日が来るのだろうか…それはまたこの後のテーマになるでしょう。

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介し

本田徹先生より 寄贈図書8冊

4月6日、「いたてクリニック」の本田徹先生より、寄贈図書として「人は必ず老いる。その時誰がケアするのか」他7冊をいただきました。本田徹先生は、「村民のみならず慣れ親しんでほしい」「発展途上国など世界の医療にも目を向けてほしい」「病気にかからないように健康増進を行ってほしい」と、おっしゃっていました。村民の健康を願う寄贈に至ったそうです。交流センター入口を入つてすぐの本棚に置いてありますので、ぜひ手に取って読んでみてください。



「交流センターよりお願い」
交流センターから本を借りている方で、長期的に返却されていない方は、早めの返却をお願いします。

小林将男さんの育てた黒毛和牛「まidea牛」の新メニュー・新商品が、この夏、道の駅に登場します。P.7・P.9をご覧ください。

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613
村づくり推進課企画定住係



入札結果をお知らせします

入札日／3月30日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
令和4年度飯館村簡易水道事業水質検査及び保菌検査	5,174,400円	福島県環境検査センター(株)	令和5年3月下旬
令和4年度飯館村農業集落排水事業処理施設維持管理業務	9,570,000円	福島県土地改良事業団体連合会	令和5年3月下旬
令和4年度第1号 村道点検、草刈り、側溝土砂上げ、支障木伐採、除草剤散布作業業務(1)	18,205,000円	(有)渡建工業	令和5年3月下旬
令和4年度第2号 村道点検、草刈り、側溝土砂上げ、支障木伐採、除草剤散布作業業務(2)	21,758,000円	(株)英工務店	令和5年3月下旬
令和4年度第3号 村道点検、草刈り、側溝土砂上げ、支障木伐採、除草剤散布作業業務(3)	25,080,000円	(有)福相建設	令和5年3月下旬
令和4年度第4号 村道点検、草刈り、側溝土砂上げ、支障木伐採、除草剤散布作業業務(4)	17,270,000円	濱田建設工業(株)	令和5年3月下旬
令和4年度学校施設空調設備保守点検業務	3,080,000円	文化設備工業(株)	令和5年3月下旬
令和4年度義務教育学校 英語活動支援業務 (ALT)	5,610,000円	(株)インタラック北日本	令和5年3月下旬
令和4年度いいたてパークゴルフ場芝管理業務	4,840,000円	濱田建設工業(株)	令和5年3月下旬

入札情報は
4月分から
ホームページで
公表します

広報紙上にて公表してきた入札結果は、令和4年4月15日入札分から村ホームページに掲載することとなりました。随時更新していく予定です。

飯館村ホームページ
<https://www.vill.iitate.fukushima.jp/>



飯館電力から5年目の寄付



写真左から菅野代表取締役社長、小林稔取締役会長(前田・八和木)、杉岡村長、三瓶政美さん(大久保・外内)、小林浩人さん

4月8日、飯館電力(菅野宗夫代表取締役社長/佐須)から、陽はまた昇る基金へ20万円の寄付をいただきました。同社の寄付は5年連続、今回で総額が100万円となりました。寄付に際し杉岡村長と対談する中で、「村の振興・復興再生に寄与できれば」と強い思いを語った飯館電力の皆さん。身近なところにもエネルギーがあることを認知してもらうことを目的の一つとして、今年はチャリティーパークゴルフ大会を開催予定です。杉岡村長は、「基金の目的に沿って大切にに使わせていただきます。ともに未来を見据えていきましょう」と感謝を伝えました。



お知らせ

被災した住宅の修繕工事に関する補助事業 一部損壊住宅修理支援事業補助金について

3月16日福島県沖地震で破損した住宅の修理を行った被災者に対し補助金を支給します。

対象は、同地震により被害を受けた住宅に居住し「り災証明」が一部損壊で修繕に20万円以上を要した方等。詳しくは5月20日発行の「お知らせ版」でご確認ください。

【申請関係】総務課総務係(☎0244-421611)
【り災証明関係】住民課税務係(☎0244-421615)

被災した屋根を保護するブルーシートの寄附 被災時対応へのご協力に感謝を伝えました

3月16日福島県沖地震の発生に伴い、いち早くブルーシートを寄附してくださった村内の3社へ、感謝状を贈呈しました。災害対応が続き資材関係の確保が難しい中で、素早い対応をいただいたことが、村民の安心へとつながりました。



株式会社熊谷組東北支店



大成・おおみ特定建設工事共同企業体



大林・東亜・大本特定建設工事共同企業体

5月の村の動きと主なできごと

- 3・4日・交流イベント「山の向こうから」(やすらぎ工房・旧草野小学校)
- 7日・自主文化事業「白崎映美&東北6県ろくろのショー!!」(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・第1回学校運営協議会(村役場)
- 13日・第3回長泥地区除染検証委員会(村役場)
- 16日・第67回新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 18日・福島県立医科大学保健科学部 村内実習スタート(いいたてホーム)
- ・認知症カフェ「ゆずカフェ」(交流センター「ふれ愛館」)
- 20日・農業委員会定例会(村役場)
- 21日・飯館産黒毛和牛 企画販売(いいたて村の道の駅までい館)
- ・いいたてつ子運動会(いいたて希望の里学園)
- 22日・宮内地区農地中間管理事業・基盤整備工事説明会(宮内公会堂)
- 24日・第5回飯館村男女共同参画計画策定委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 25日・第4回長泥地区除染検証委員会(村役場)
- ・定例教育委員会(村役場)
- 26日・いいたて希望の里学園 前期課程 田植え体験(二枚橋地区)
- 28日・新型コロナワクチン集団接種(いいたてい館)

「ふるさと資源」発掘図鑑

飯館村森林組合（佐藤長平組合長／宮内／右写真）が創立60周年の記念に新品種の八重桜「はるか」60本を購入。5月に約2週間をかけて、大雷神社、綿津見神社、いいたてスポーツ公園、森林組合事務所に植樹しました。「はるか」には福島・東北を応援するシンボルとして、はるかかなたの未来まで広がってほしいという思いが込められています。花を咲かせる日が楽しみ。

飯館村森林組合

「いいたてスポーツ公園」で植樹を行った皆さん



掲載についてなどお問い合わせは村づくり推進課企画定住係☎0244-42-1613までお気軽に。

道の駅に飼育用のメダカを出荷している佐藤さん。福島市の自宅におじゃますと、屋内外に様々な水槽や装置が。さながら水族館のバックヤードの様でした

自作のビオトープには村から来たメダカ・ドジョウ・エビなども生息

屋内には卵を取り孵化（ふか）させる水槽が並び、屋外や飼育小屋には様々な環境の水槽が。丁寧な飼育、研究熱心さにただただ感動…。

多品種の珍しいメダカに会えます

妻を亡くした7年前、無気力になった私を励まそうと息子がメダカや金魚を買って来てくれたのが始まり。卵をかえすようになり試行錯誤するうち知識も身につき品種も増えて…こうなりました。

亡き妻を語り涙ぐむ愛妻家の佐藤さん
佐藤庄一さん(伊丹沢)



地域おこし協力隊
いいたてDIARY
ダイアリー

5月3、4日の2日間、山の向こうからが開催となりました。4回目となる今回は、関東や関西からの出店を含む36店舗。キャンドルナイト、刀の焼き入れ、Liveなどが催され、来場者数は少しだけサバ読んで1,200人と沢山の方にお越し頂きました。

回数を重ねる毎に県内外沢山の方に知っていただける機会が増え、遠くは北海道からのお客様も!次回は秋に開催する予定です。是非ご家族でお越し下さい。



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
二瓶 麻美さん

Instagram: @yamanomukoukara

おいしい飯館！ままでの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう!

アスパラガスの巻

春芽と夏芽を出荷しています

道の駅でも大人気!太くて柔らかいアスパラの他、果樹なども育てています。



大渡和公さん(草野)

アスパラガスは春芽を取り終えると一度出荷を休みます。ひと月程するとまた生えて来て夏芽の出荷が始まります。料理のレシピは娘が教えてくれました。他にも、庭のピザ窯でピザを焼いたり、乾燥粉末にして活用したりと、アイデアはさらにふくらみます。強力粉にビールを加えて薄い衣で天ぷらにするのもおいしいですよ。

娘の美香さんが大好きなアスパラさんです



肉巻きアスパラに衣を付けてフライに
熱々はもちろんお弁当にも

小さく薄く刻んだアスパラにめんつゆとバターを加えて電子レンジへ。500Wで2分間加熱し、ご飯に混ぜて出来上がり。



絶品! 「アスパラご飯」
手軽さとおいしさに驚き!

「焼きアスパラ」もおすすりめ!



アスパラの味わいが引き立つ
オリーブオイルをひいたフライパンで焦げ目がつくまで弱火で焼きます。シンプルに塩コショウで。

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
佐藤 楓太くん	悠次・美貴	比 曾



ひとのうごき (令和4年4月30日現在)

人口		4月1日～30日までの人口動態	
今月(前月比)	転入	8人	
男 2478人 (-2)	転出	15人	
女 2452人 (-10)	出生	2人	
補計 4930人 (-12)	死亡	7人	
世帯数 1807戸 (+2)			(住民基本台帳人口)

(4月21日から5月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
大内 ミツ子	91	佐 須
高野 利 勝	84	小 宮
青柳 金 次	84	大久保・外内
赤石澤 チイ子	98	二枚橋・須萱
高野 吉 邦	67	大久保・外内
赤石澤 巧	86	小 宮

ご冥福をお祈り申し上げます

別荘として使われていた建物を改修。古民家の味わいを生かし、親しみやすくかつ特別感のある空間に。佐藤さんのおもてなしの心を感じます。右は季節のパスタなど料理の一例



ふるさとに開くレストランに想いをこめて 洋食レストラン「ラカッセ」がオープン

飯館村に洋食レストランが誕生！店名の「ラカッセ」は、「どうぞ食べて」と食事をすすめる時の方言「かつせ(食わっせ)」をもじってオーナーシェフの佐藤雄紀さん(二枚橋・須萱)が名付けました。プレオープンは6月5日、本オープンは同10日です。

高校時代にはすでに「料理を仕事にしよう」と志していた佐藤さん。専門学校卒業後は、震災の影響とも向き合いながら県内の企業や店舗で実績を積み、力を蓄えました。そして、準備に約1年をかけ、自身のレストランをオープン。親しみやすい洋食を本格レシピで提供する他、「村産の食材を生かした小鉢も付けたい」とメニューを考案しました。ホールを手伝う友人・知人の申し出もあり、「若い世代がつながり合っても働けること、活躍の場があることも発信したい」と話します。「そして何より、皆さんに自分の料理を楽しんでほしいと願っています」。

La Kasse OPEN! ラカッセ

飯館村二枚橋字本町 193-3

☎080-5569-4336

時 午前10時30分～午後7時

休 日曜午後・月曜日



眺めのよいオープンテラスも選べます

「夏の緑にも雪景色にも映え温かみがある」と採用されたオレンジ色の外壁が目印



オーナーシェフの佐藤さん

〈編集後記〉
● 昨年に引き続き、今年もいたてっ子運動会にお邪魔しました。園児のダンスに癒され、前期課程の真剣なまなざしに心打たれ、後期課程の頼りがいのある姿に感動を覚え。そして、子ども達の頑張りといきいきとした笑顔に勇気もらい…。子

どもの持つ力はすごいなと改めて感じました。(菅野)
● 盛り沢山のできごとで、あっちに行きたい、こっちも気になるとバタバタ…。飛び込み同然の取材にも温かく対応くださる村民の皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございます!(星)

Native Speakers 第14回

ネイティブ・スピーカーズ 飯館言葉の達人たち

まんがれだ〜!

その意味は…



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

または検索で!

飯館村 YouTube

